

## 北海道映像コンテスト優秀賞受賞にあたり

撮影部 報道撮影グループ カメラマン  
大和谷吉康

昨年制作し今年放送された「北海道プライド MADE IN 北海道の革製品」が、北海道映像コンテスト2016で優秀賞を受賞しました。

自分が撮影した作品が評価され大変光栄に存じます。

またこの番組にかかわった皆さんにこの場をかりて感謝申し上げます。

カメラマンが企画・構成を考えて制作するこの番組は、普段の取材よりカメラマンの目線で番組を作ることができます。この番組で受賞することができたということは、他のカメラマンの励みにもなったと思っています。

この作品では、普段使用している ENG ロケ機材の他にデジタル一眼での撮影も組み合わせました。デジタル一眼での撮影でより革製品の質感などが再現できたと思っています。

ですが、2つのカメラでの撮影ですのでどの部分をどのカメラで撮影するのか？というのが悩む部分ではありました。デジタル一眼での撮影は初めてだった為、操作系にかなり苦しめられました。反省すべき部分です。

審査講評の中に、「今年はより地域発信の作品が目立っていた。中でもアマチュアカメラマンの躍進があり、プロに引けをとらぬ作品が多かった。機材も低価格で誰でも撮影できる。プロとアマその垣根が低くなってきている」とありました。

アマチュアカメラマンが撮影した映像は、確かにプロが撮ったといっても遜色ない映像で自分自身ショックをうけました。

デジタル一眼での撮影も然り、昨今いろいろな撮影機材がでてきておりプロカメラマンも民生機をつかう機会が増えています。操作系もしっかり覚えなければなりません。

そのなかで、プロとアマとの違いは何なのか？プロのカメラマンとしての映像をどう表現していくのか？どう撮影していくのか？

この受賞を機に考えさせられ、それを今後に活かしていきたいと思います。

